

# なかつ市議会だより

令和6年  
9月議会

## 大分県立中津支援学校 なのみ祭(11月22日・23日)に向けて



「職業」で制作した製品

(布加工班の刺し子布巾、窯業班の文鎮、紙工班のカレンダー)



高等部農業班の収穫の様子



中学部紙工班の作業の様子



小学部図画工作の授業の様子



※なのみ祭の詳細については、  
[学校ホームページをご覧ください](#)



←中津支援学校HPはこちら

表紙作成:大分県立中津支援学校

## 大分県立中津支援学校と意見交換会を行いました



広報広聴委員会では、令和6年9月5日(木)に中津支援学校児童生徒会と意見交換会を行いました。児童生徒会の取り組みについて紹介があったのち、意見交換会では、通学路の安全対策や自転車のヘルメット着用などについて、市に対する意見や要望をいただきました。それに対して委員より市の現状や課題、今後の展望等について説明を行い、活発な意見交換となりました。

「なかつ市議会だより」は、中津市ホームページにも掲載しています。

<https://www.city-nakatsu.jp>

なかつ市議会だより

検索



発行/大分県中津市議会

発行年月日/令和6(2024)年11月1日



# 代表質問

- ◆毎年9月議会において、会派の代表者が具体的政策を、主に市長及び教育長に対し質問するもので、今回が16年目になります。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



## 前進

代表質問者

ふる え しん いち  
古江 信一



### ◎企業誘致関連について

**問** これまでの成果や今後の方向性、見通し、課題についてお聞きします。

また、人口減少に影響を与える女性の働く場の確保について、進学等で中津市を離れた若い女性の方がUターンをし、活躍できる企業誘致を具体的に進めて頂きたいと思います。

次に労働力不足により増え続ける外国人市民に対し、総合的な相談窓口を市役所内に新設してはどうですか。

**答** 就任からこれまで計92社が立地し、2,072名の雇用と832億円の投資を生みました。現在、国内外を問わず、自動車ではEV関連、半導体では次世代半導体への投資意欲が活発な状況です。こういった集積産業を中心に、女性の雇用が図れる企業誘致にも取り組みます。また課題への対応として、企業の留置対策や施策のブラッシュアップ、用地の適地調査をそれぞれ実施します。

女性の働く場の確保については、女性を雇用した場合に助成金を加算し、また、令和6年度より働きやすい労働環境整備に対する助成も拡充しました。女性の働きやすい環境整備や女性が希望する業種の誘致は、これからも積極的に進めます。

多文化共生については、昨年12月より外国人総合相談センターを運営しており、体制拡充に努めています。また、「日本語教室の開催」や「各種情報の多言語化」、「日本語指導員の配置」などの対策に適宜取り組んでおり、部署間の連携はもちろん、国や県、関係団体とも連携を進めます。



ルネサスエレクトロニクス㈱大分工場



青の洞門・羅漢寺IC付近

### ◎中津市の観光振興について

**問** 令和6年3月、「おんせん県おおいたアドベンチャーツーリズム条例」が県において施行されましたが、県と連携し、条例の推進に積極的に取り組んで頂きたい。来年は昭和100年の年。「昭和の町」として全国に知られる豊後高田市や、鎮座1,300年の宇佐神宮、中津市を含め3市が連携し、節目のイベントを中心に、パワーアップした宿泊型広域観光に取り組んでみませんか。

**答** 令和3年より開催している、日本遺産「やばけい遊覧」を活用した「やばはく」は、歴史・文化・自然などを感じる体験プログラムで構成しており「おんせん県おおいたアドベンチャーツーリズム条例」にかなうもので、今後も県の協力をいただきながら取り組んでいきます。

宇佐市・豊後高田市との連携については、「豊の国千周年観光圏」・「おおいたノースエリア連携協議会」で連携した取組みを進めています。今後も連携を深めるとともに、令和7年度の宇佐神宮鎮座1,300年等を中津への観光客入り込みにつなげるよう取り組みます。

### ◎市の学校教育のあり方について

**問** 少子化の進行により、特に旧郡部で目立つ複式学級において、どのように主体的学びを保証していますか。次に、授業や遊びの中で自分とは違う考えに触れ、その対応などの経験を積むことで社会に出た時に役に立つ社会性を身につけることが重要と考えますが、いかがでしょうか。「学校のあり方検討委員会」が設置されましたが、その後の経過、目的、委員構成についてお聞きします。

**答** 複式学級では、旧市内と同様のペア・グループ学習が難しいところではICTの活用や他校との合同学習などにより、主体的な学びに繋げています。次に、子ども同士の触れ合いによる社会性の涵養（かんよう）についてですが、地域や他校との連携を行っています。しかし、1校当たり学級数が1から5学級の「過小規模校」の現状等に鑑み、教育環境面から少子化等に対応した教育活動のあり方について考えていく必要があると考え、8月19日に「学校のあり方検討委員会」を設置しました。構成員は、学識経験者2名、学校代表2名、保護者代表5名、地域代表2名の11名です。同日、第1回の会議を開き、来年5月を目途に会議を重ね検討して頂き、報告書を提出して頂くことにしています。



学校でのICT活用の様子

### ◎「不滅の福澤プロジェクト」事業の継続について

**問** 3年間にわたって実施された事業の成果は。福澤諭吉先生の故郷中津を全国に発信し、先生の功績を末永く後世に伝えるとともに、実社会で活躍する人材を育成する目的で、プロジェクト終了後もアフタープロジェクトとして継続すべきと考えますが、アフタープロジェクトのテーマの一つとして「(仮称)福澤諭吉奨学金制度」を検討してみませんか。

**答** 「学び」を通じて、人が集い交流が生まれ、「人とまちがともに発展」する市を目指すという自治体としての姿勢を示すため、「学びの里なかつ推進宣言条例」案を今議会に提出したところです。

今後も、福澤先生の顕彰事業を継続していくとともに、「学び」をキーワードにした施策を推進していくことで、福澤精神を未来に引き継いでまいります。

また、子どもの学びの機会を拡げるために、現状の各種奨学金制度を最大限活用いただくとともに、他の必要な支援等についても多面的に検討してまいります。



福澤克雄監督講演会



清流会

代表質問者

おおうち なおき  
大内 直樹



◎福澤諭吉先生の功績を活かした、中津のまちづくりについて

問 福澤先生は「学問のすゝめ」において、教育の重要性を強調し、個人自立と社会の発展には教育が不可欠であると述べています。中津市では、福澤先生の教育理念をどのように市の教育政策に反映させていますか。

答 「独立」や「実学」などの理念は、先生の教育の基礎となっており、その教育理念は現代に受け継がれています。市教育委員会では、学校教育の指導指針として「自立する力を育て、社会で活躍できる子どもの育成」とし、その実現に向け、児童生徒が主体的に学ぶ「みんな活躍授業」の取り組みや、新しい時代に必要な総合力の育成として、ふるさと学習やキャリア教育、英語体験活動に取り組んでいます。また、ふるさと学習では、福澤先生の生涯や思想も含めた中津のことについて学べる教材を利活用しています。また、「新中津市学校」では、広く平等に学びをという先生の思いを受け継ぎ、市民講座など学習交流施設として活用されています。

不滅の福澤プロジェクト

大分県中津市は福澤諭吉の故郷



問 福澤先生の実学は、防災教育においても非常に重要です。学校教育で防災に関するカリキュラムを導入し、子どもたちが早い段階から防災意識を持つような防災学習は十分に行われているでしょうか。また、地域住民向けの防災講座を定期的開催し、最新の防災知識や技術を普及させ、互いに助け合う共助の体制を整えていく必要があると考えますが、いかがでしょうか。

答 防災学習について学校安全計画に則って、火災避難訓練・地震避難訓練、不審者対策避難訓練等を防災危機管理課や消防署等の協力を得て行っており、回数は年2回以上実施しています。また、地域や各種団体を対象に防災出前講座や防災研修などの支援も行っています。支援がきっかけで、自主防災組織が主体となった、防災訓練の実施、避難所の運営支援、避難に支援が必要な方の援助計画に取り組みとする地域も現れています。このような好事例を、他の組織にも紹介し、少しずつできることから、地道に手順などを学んでいただき、定期的な訓練の実施と内容の充実が図られるよう、引き続き支援を行っていきます。



避難所運営の様子

問 地域経済の活性化の為に、中小企業振興基本計画に基づき、施策を具体的に展開していく必要があると考えます。地元中小企業・小規模事業者が持続可能な経営を行うため、経営コンサルティングの提供等、支援体制を整備すること、新技術を導入し、競争力を高める為の研究開発助成金の提供や技術セミナーの支援策を講じる必要性、新しい市場を開拓する為の支援策強化、また、人口減少の著しい中山間地域で起業支援メニューの見直しが必要です。地元企業支援・経済支援を行っていくには、(仮称)中津産業支援センター等の導入が必要であると考えますが、いかがですか。

答 中小企業の振興につきましては、令和元年12月に制定した「中津市中小企業振興基本条例」に基づき、取り組みをすすめています。具体的には「中津市産業振興会議」を開催するなど、これまでも県や商工会議所などと連携し、相互に協力しながら、地域産業の活性化を図っています。今後も、県や商工会議所、金融機関などの関係機関と連携を強め、中小企業の振興に努めてまいります。



問 東九州新幹線の整備は、中津市を含む九州全体の交通ネットワークを劇的に変革し、都市間移動の時間短縮をもたらします。沿線地域の開発も進むことが予想され、これに伴って商業施設や観光資源の整備が進むと考えます。さらに他の地域との連携を強化する契機となり、中津市の経済圏が拡大することも期待されます。市長の東九州新幹線日豊本線ルートについての見解をお伺いします。

答 東九州新幹線のルートについては、局地的な議論ではなく、九州全体を見据えた視点で考えること。九州全体の発展のためには西側と東側の地域格差を是正することが大切であること。新幹線を観光列車と考えるのではなく、ビジネス面での発展を含め、関西圏を視野に入れた経済基盤の強化に努めること。並行在来線の存続を前提にすること。生活のための鉄道は維持すること。こうした考え方を軸に、これまでの経緯を踏まえ、今後も「東九州新幹線は日豊本線ルートである」との認識のもと、東九州新幹線を含めた東九州軸の形成に向け、積極的に取り組んでまいります。





### 市民の会

代表質問者

千木良 孝之



#### ◎地域コミュニティの活性化

問 中津市内には多くの高齢者サロン、健康体操教室がありますが、運営者の

高齢化などの理由から参加者が減少してきています。今後、参加者を増やすための取組みが必要です。そこで、\*eスポーツを楽しむイベントを開催し、新たに参加したくなるようなサロンを増やす必要があると考えますが如何ですか。

答 リズムに合わせて太鼓を叩くゲームなどのeスポーツは、様々なコンテンツがあり、性別や社交性に関係なくでき、認知症予防やフレイル予防に効果が期待できるといわれています。さらに、eスポーツ体験会や対戦イベントの開催により、通いの場等にこれまで参加されなかった高齢者の方々の参加を促進できることから、今年度、大分県の「通いの場魅力向上事業」を活用して「元気いきいき☆週一体操教室」の1か所において、eスポーツを取り入れたモデル事業を実施いたします。



eスポーツ体験会の様子

#### ◎みんなが子育てしたくなるまちづくり

問 中津市の出生数は年々減少し、2012年の833人をピークに2022年には550人まで激減しています。出生数の激減の一番の要因は子どもを産む世代の女性人口の激減であり、市内における女性の働く場の確保や北九州市近郊に通勤できる交通体系の充実が急務と考えますが如何ですか。

答 女性が働きやすいオフィス業や食料品製造業など女性が働きやすいという視点を持ちながら企業誘致に取り組んでいます。市内の企業でも女性のライフステージに合わせた働き方が可能なところが増えてきております。今後も女性を雇用する企業に対して積極的に支援を行ってまいります。また、通勤や通学で鉄道を利用される方々の利便性を維持していくため、「九州地域鉄道整備促進協議会」などを通じて、JR九州に対し改善への働きかけを行っています。



イオンモール三光内にある\*BPOセンターで働く女性の様子

#### ◎企業立地促進と中小企業の事業継続・人材確保の支援

問 新たな工業団地として三光臼木・諫山地区の水源地調査を実施しますが、早急にこの工業団地を完成させるべきと考えますが如何ですか。更に、交通の利便性の良い中津インター周辺にも工業団地を確保すべきと考えますが如何ですか。また、人材の確保に向けて、大分県立工科短期大学を4年制にするとともに、職業訓練学校や4年制大学、工業系専門学校を誘致を進める必要があると考えますが如何ですか。

答 工場立地動向調査（経済産業省）によると全国の新規工場は、インターチェンジから5km以内に立地する割合が約4割を占めます。そこで、アクセスの良い三光臼木・諫山を工業団地候補地とし、今年度は適地調査を行い、国の方で新たに始めたアドバイザー事業も活用して早期の団地整備に向けて取り組みます。また、職業能力開発促進法に基づく大分県立工科短期大学の今後のあり方は、県の所管とするところです。今後も、地域の産業で必要とされる人材がしっかりと確保できるよう、県や関係機関と連携し、取り組んでまいります。



中津IC周辺の様子

#### ◎持続可能なコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり

問 公共施設の老朽化が進む中、令和4年3月に一部改訂した中津市公共施設管理プラン（計画期間：平成28年度から令和37年度までの40年間）の目標設定として「今後40年間で公共施設の延床面積を20%削減します」としていますが、中津市公共施設管理プランの計画策定から8年が経過した今、総量は減少するどころか増加しています。早急に遊休施設の売却や賃貸等による処分を実施し、新たな施設の計画段階から廃止施設の処分方針を決定する必要があると考えますが如何ですか。

答 公共施設及びインフラ施設の総合的な管理を推進するため、公共施設マネジメント推進委員会にて検討しており、遊休化した公共不動産は、令和4年度より遊休施設をインターネットで検索することができる「中津市公共不動産マップ」の運用を始め、市民や民間事業者に向けて広く紹介しています。遊休化した公共不動産の利活用については、本年7月12日に専門業者である株式会社 KLC と「利活用困難な遊休不動産の流通促進に係る連携協定」を締結しており、民間企業と連携し、さらに取組みを推し進めてまいります。

#### 語句の説明

- \*eスポーツとは、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。
- \*BPOセンターとは、外部委託を請け負う会社が業務を行う拠点のこと。





## 日本共産党

代表質問者

川内 八千代



### ◎市民の平和の願い、実現に向けて

**問**「戦争のない世界と核兵器のない世界」は市民の願いです。市長は市民の

代表として核兵器禁止条約への参加を国へ要請するよう求めます。

**答**核兵器禁止条約への署名・批准、国防・外交は国の専管事項であります。核兵器廃絶と人類の恒久平和の実現を願うまちとして平和学習、原爆ポスター展示などの取組みを継続していきます。

**問**自衛隊に市民の名簿が提供されています。その人数、個人情報の内容、個人情報は保護されているか、被提供者への周知はなされているか、名簿はどう利用されるのか、中津市は自衛隊への入隊を勧めているのですか。日本共産党市議団は防衛省に出向き自衛隊への名簿提供は自治体の義務ではないこと、提供しなくてもペナルティもないことを確認しました。市民の個人情報を自衛隊に提供することはやめるべきではないですか。

**答**令和6年度は18歳、22歳のあわせて1,452人の氏名、性別、住所、生年月日の情報を提供しました。自衛隊への情報提供を望まない方もおられるので除外申請制度を設け、市ホームページで周知しています。名簿は自衛隊募集業務のみに使用されます。



政府関係者へ個人情報保護についての要望書提出

### ◎障がい者福祉について

**問**市内の重度障がい者の方が、入居可能な施設が少ない現状と入居希望者への対応を伺います。

**答**市内には2か所の重度障がい者の入居施設があります。今後は日中支援型グループホームの市内での整備促進を支援していきます。

### ◎補助金不正受給事件の解決

**問**市民の税金が1,300万円不正使用されています。裁判をしましたが回収できた金額はいくらですか。退職金1,900万円の返還はどうなっていますか。市民に損害を与えない解決はできますか。

**答**補助金不正受給事件の判決はまだ確定していません。市側に損害が出ないように市として取り得る手段は全てとっています。退職金返還訴訟は市側の主張が全面的に認められました。退職金返還に向け取り組んでまいります。

### ◎有料ごみ袋の廃止に向けて

**問**過去5年間の燃やすごみ減量状況はどうなっていますか。今のごみ袋は3年間の作製契約で今年度が最終です。減量目標達成ならごみ袋有料は廃止を検討すべきではないですか。

**答**燃やすごみはこの5年間で約20%減量しています。今後もごみ減量の目標達成、循環型社会形成の促進に向け、必要な施策を推進していきます。

### ◎食を守る

**問**食糧自給率の向上のため、地産地消の推進、オーガニック農業を推進し、学校給食もオーガニック給食をどう取り組んでいくのか伺います。地産地消の推進とオーガニック食材活用の学校給食、食中毒発生や災害時給食提供を考えれば、給食センター統合は矛盾しています。市民や保護者にも知らされていないのは大問題。給食センター統合計画は関係機関、議会の議決を得て予算化すべきではないですか。

**答**学校給食への地元食材の活用について取組みを進めます。有機食材の給食への活用についての課題は必要数量の安定的納品が可能かどうかです。安定供給の環境を整えば価格面も考慮し考えてみたいと思います。給食調理場統合は、より安全な場所で安全安心な給食を提供できる施設を効率的・効果的に整備運営していく必要があると考えました。説明会は校長、給食主任代表、PTA連合会代表、学校PTA給食担当の保護者が参加する学校給食運営審議会で説明し、議員全員協議会で説明しました。

**問**学校給食は重要な教育の要素です。自治体で無償化が広がっています。全小中学生が公平に教育を受けられるよう給食費は無料にすべきです。

**答**市では3歳～15歳までの子どものうち第2子以降を無償としています。今後も市長会を通じて国による公費負担の要望を続けていきます。

### ◎災害対策

**問**避難所になっている学校体育館にエアコン設置を求める声が多い。学校の2～3階が避難所になっている場合はエレベーター設置を。災害時は避難所開設の情報等が確実に届くよう防災ラジオを普段から活用するように。地域の自主避難所への支援を強めるよう求めます。

**答**学校体育館の空調設備は授業、部活動、災害時避難所の安全面からも取組みが必要な課題と捉えています。様々な課題も多く、優先順位をつけ、取り組んでいきたいと考えます。

防災ラジオは希望者に配布しています。貸与したラジオが聞こえない場合は、防災危機管理課へ相談していただきたいと思います。地域住民が主体となって運営する自主避難所は、自治会に対し必要な資機材等購入費用を補助金として支援しています。



エアコンがついている中津東体育館

…エアコン

# 9月議会 一般質問

- ◆令和6年9月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介いたします。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(オレンジ色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



み かみ ひで のり  
**三上 英範**  
(日本共産党)



- 中山間地域持続化の具体策は
- 災害から地域農業を守るため
- 学校給食調理場統合の問題点
- 報酬改定と障がい者福祉
- 道路環境の維持

**問** 第5期の中山間地域直接支払制度のまとめでは、小規模な組織ほど継続困難とのことですが、当市では。

**答** 第6期対策では、高齢化により、事務等困難な組織については、合併等検討しながら積極的な推進を行っていきます。

**問** 農地等の災害復旧事業で国は、被災農家に負担を求めず、市が国の補助残を全額負担することも可能としていますが、市の見解は。

**答** 国は国庫補助残について、地方自治体が全て負担することも可能であるとの見解ですが、中津市では農地等の個人財産や受益のある農業用水路等については、応分の負担は必要と考えています。

**問** 県は、今年度予算を増額し草刈りを年2回から3回に増やしていますが、市も同様に予算を増やすべきでは。

**答** 引き続き、市道の通行に支障をきたすことのないよう、予算の確保や適切な管理に努めます。



つね が しん た ろう  
**恒賀 慎太郎**  
(前 進)



- 市道の安全対策
- ・ 永添サッカー場北側丁字路の改良工事予定は
- ・ 豊寿園北側歩行者安全対策は
- 学校プール民間委託について

**問** 永添総合運動公園北側丁字路交差点は、走行車の視認がしにくい。改善計画は。

**答** 当該箇所は、令和3年度に通学路安全対策会議で検討され、令和5年度に測量設計委託を実施し、本年度交差点改良工事を発注し、年度内完成予定です。

**問** 豊寿園北側市道の狭小部分は、歩道が整備されていない。安全対策(グリーンベルト路側帯)は。

**答** 質問の箇所については、地元や学校から通学路安全対策会議を通じ要望を頂いた後、現地調査を行い、整備について判断してまいります。

**問** 小中学校のプール授業は、熱中症、教師の重労働、プールの老朽化、消毒等の多くの課題が存在している。授業の民間委託を検討出来ないか。

**答** 民間施設は、天候に左右されずに授業が出来ることや、複数人による監視により安全性、専門性の高い指導による泳力の向上等メリットが多数想定されますが、一方送迎等課題も多く、学校規模、地域の状況を考慮しながら勉強したいと思います。



おお つか まさ とし  
**大塚 正俊**  
(市民の会)



- まったなしの災害対策
- 不滅の福澤プロジェクトの成果と今後の取組み
- 合併20年、市制100年に向けて
- 道路、水路の維持管理

**問** 猛暑日が続いた今年の夏、大規模停電への備えとして、避難所となる小中学校の体育館等にガス空調設備やガス発電施設を早急に整備すべきでは。

**答** 猛暑などの状況から、避難所における衛生環境にも配慮が必要と認識しています。学校体育館の空調設備については、国、県の制度、災害リスクなどを総合的に勘案して考える必要があります。

**問** 福澤先生の生誕の日(1月10日)を中津市の記念日として定め、不滅の福澤プロジェクトを集中して実施し、顕彰する日としてはどうですか。

**答** 福澤先生の命日(2月3日)に合わせて実施してきた記念講演会や諭吉かるた大会等の記念事業も福澤精神を次世代へと引き継ぐ学びのひとつと位置づけ、継続していきたくと考えています。

**問** 市道、農道、里道、水路敷の維持管理の方針を見直し、草刈り等に必要な予算を確保すべきでは。

**答** 引き続き、地元と協議を行いながら維持管理予算の確保及び適切な管理に努めてまいります。



き さ ぬき よし こ  
**木佐貫 佳子**  
(市民の会)



- 子ども達が安心して過ごせる学校に
- 何歳になっても安心して暮らせる地域に
- 観光客がわくわくできる中津に

**問** 教員が子どもと向き合う時間を増やすために、プール管理業務の委託、教材費の集金を口座振替にすること等への考えは。

**答** 教材費の集金等の学校徴収金については、効率化に向けた研究を進めていくようにしており、他市の状況を情報収集しています。今後も学校における働き方改革については、現場の意見などを聞くとともに、学校運営協議会も活用していきながら、業務改善に取り組んでいきたいと考えています。

**問** 市内の民生委員の現況は。

**答** 定員236人、現員225人です。

**問** 民生委員の処遇改善についての考えは。

**答** 個人あての活動費や協議会あての交付金、補助金のほか、市単費でも報償金や補助金等による支援を行っています。民生委員の処遇改善については、大分県市長会や九州市長会から国への要望事項等としてもあげられているところであり、中津市としても機会をとらえて要望してまいります。





おく むら かず よし  
**奥村 一義**  
(前 進)



- ひとり親家庭や生活困窮者へのサポートについて
- 避難所入退所管理アプリについて

**問** ひとり親家庭の経済的サポートとして児童扶養手当がありますが、どのような制度ですか。

**答** ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため支給される手当で、所得制限がありますが、子どもが1人の場合、最高で45,500円の手当が支給されます。11月に制度改正が予定されていて、所得限度額が引き上げられ、第3子以降の加算額が増額されます。

**問** こども食堂の活動内容を教えてください。

**答** 市内には9カ所のこども食堂があり、月に1回程度食事を提供しています。利用は子どもだけに限定されず、誰でも集える地域交流の場として各団体が運営しています。今後、他市の事例等を研究し、市の支援のあり方を考えていきます。

**問** 避難所入退所管理アプリの狙いは何ですか。

**答** 一度に多くの方が避難してきた時に受付業務を迅速にすることと、避難者の所在を確実に把握することです。多くの方の登録をお願いしています。



さが ら あす か  
**相良 亜寿香**  
(ほんき)



- ごみ削減について
  - ・ 電気式生ごみ処理機の補助金制度の成果について
- 教育環境について
  - ・ 旧下毛郡の小中学校の在り方

**問** ごみリサイクルミニ集会の実施回数と内容は。

**答** 令和2年度以降、延べで343回、8,606人の参加があり、特に市のごみ事情・減量と資源化・分別などを年齢層にも配慮して開催しています。

**問** 電気式生ごみ処理機の補助金制度の成果は。

**答** 本年5月から受付を開始し、8月末で32件の申請、交付金額は予算額150万円のうち約78万円で、予算額の約5割を執行しています。

**問** 今後の旧下毛郡の小中学校の在り方については。

**答** 中津市の実情に合った学校の在り方を探っていく上で検討委員会を設置し、8月19日に第1回の会議を開催しました。教育面・地域における学校の役割など、検討委員会の皆様から忌憚のないご意見を頂き、今後も令和7年5月までに6回の会議の開催を予定しています。方針決定した後、順次説明会を実施して行くこととなり、その際は、保護者並びに地域の方々に丁寧に説明したいと考えます。市のホームページで議事録や資料も公開します。



お ずみ とし こ  
**小住 利子**  
(公明党)



- 母と子が笑顔あふれるなかつへ
- 難聴者の窓口対応の支援について

**問** 男性の育児休業取得促進奨励金の導入の考えは。

**答** 市が実施したアンケート結果から、育児休業を取得しにくい職場の環境整備をより促進させる必要があると考えています。また、来年4月に育児休業給付金の給付率が引き上げられる「出生後休業支援給付」が新たに施行され、最大で手取りの約10割相当の金額が一定期間支給されることにより、共働き・共育てが推進していくものと考えます。

**問** 軟骨伝導イヤホンの窓口設置の考えは。

**答** 市民サービス向上のためのDX化の一環として、情報デジタル推進課と連携して、令和6年9月に窓口で「音声を読み取って文字表示するシステム」の実証実験を行っております。今後は、このシステムや「窓口用軟骨伝導イヤホン」も含め進化する情報技術等や、先進地の導入事例を注視し、聴覚に支障がある方が来庁された際は、意思疎通が図れるよう対応していきたいと考えております。



きの した もとのぶ  
**木ノ下 素信**  
(清流会)



- 消防団を中核とした地域防災力の充実強化

**問** 8月末日の外国人人口は、ミャンマー 692人、ベトナム515人、インドネシア481人、韓国161人、フィリピン158人など、48か国2,358人となっています。このような状況で、「外国人団員」の募集は考えませんか。

**答** 今後、総務省消防庁から示される通知や、現在外国人が活動する他の消防団の活動状況を参考に、整理研究していきたいと考えています。

**問** 「大規模災害のみに活動する分団」を防災士や自主防災組織のリーダーなどで、組織する考えはありますか。

**答** 当市の機能別消防団員の活動は、分団OBによる地域分団の後方支援が主な活動となっていることから、現時点では新たに災害事象に対応できる分団の結成は難しいと考えています。



ほんだ てつや  
**本田 哲也**  
(清流会)



- 豊かな海づくり大会を契機に
  - ・ 海底ごみ回収/魚市場セリ公開
  - ・ ラムサール条約/未来都市へ
- サイクルシティなかつを掲げ
- FMラジオで情報発信を

**問** 環境保全の取組みで、瀬戸内4県で進められている底曳網による海底ごみ持ち帰りへの支援を。

**答** 周防灘海区における県や市町村など、水産関係者と効果的な制度の導入を協議します。

**問** 地魚の消費拡大が期待される中津魚市場セリの一般公開支援を。

**答** 見学場所等、市場関係者と協議してまいります。

**問** 中津干潟のラムサール条約湿地登録により、農林水産物等への付加価値も期待されるが、見解は。

**答** 令和10年度末までに1カ所選定を目標に、荒尾干潟などの他の事例を深く研究します。

**問** 中津市民にとって誇りになる「SDGs未来都市なかつ」を目指しませんか。

**答** 「環境共生都市なかつ」を、さらに高い次元で実現できるよう目指してまいります。

**問** 「ツールドやばけい」の将来展望は。

**答** 市全体の観光振興に繋がるイベントであり、出来る限りの支援をしてまいります。



あらい ひろこ  
**荒木 ひろ子**  
(日本共産党)



- 有料指定ごみ袋の廃止
- 補助金不正受給事件の解決
- 新共同調理場建設の見直し
- 重度障がい者入所施設の増設
- 位置指定道路の安全対策

**問** 補助金不正受給の元市職員への退職金返還が裁判で確定しました。金額と返還金額、使い込まれた1,300万円のスポーツクラブへの返還請求の現状、領収書偽造を行った元市職員への返還請求状況、貴重な市民の税金を守る市の責任は。

**答** 退職手当の返還請求の判決額は、19,734,213円及び年5分の遅延利息です。今時点での返還金額は、67,561円となっています。総合型地域スポーツクラブへは、10,152,829円の請求を行っていますが、年に1～2回返還について話しています。元市職員については、裁判の判決確定に至っていません。引き続き、解決へ向け取り組んでいきます。

**問** 沖代1丁目位置指定道路沿いに新たに2つの商業施設建設がすすんでいます。通行する一般市民の方々の交通安全対策として市道認定を。

**答** 市道認定する際の認定基準がありますので、適合すれば認定は可能です。条件を満たす必要がある場合は、申請者側の負担での対応となります。



まつば たみお  
**松葉 民雄**  
(公明党)



- 酪農対策について
- 交通手段について
- 空き家対策について
- 森林環境譲与税について
- 位置指定道路について

**問** 人工透析患者の人数と通院手段は。

**答** 市が把握している人工透析患者の人数については、腎臓機能障害による身体障害者手帳所持者で人工透析を必要とされる方で、市全体で272名、うち旧中津市内214名、旧下毛地域58名です。通院手段は、患者本人が自動車等で通院、家族が送迎、バスやタクシーを利用、市内の2医療機関が送迎サービスをしている等のケースがあります。

**問** 人工透析の通院に対する送迎の補助は。

**答** 障がい者の補助は、公共交通機関の利用が困難で、特にタクシーを使わざるを得ない方の経済的負担の軽減を目的としていますので、透析患者については、現時点では対象になっていません。障がい者等社会的配慮の必要な方の移動支援については、今後も実態把握に努め、庁内で移動支援担当課連携会議を開催し、移動支援に関する課題の共有や取組みを検討し、地域の実情に合わせた移動支援について議論を行ってまいります。



みえの たまえ  
**三重野 玉江**  
(清流会)



- 教育施設の整備について
  - ・ 小中学校体育館へのエアコン設置の考えは
- 地域通貨導入戦略について
  - ・ \*デジタル地域通貨導入は

**問** 近年の異常気象の中、学校教育以外に社会体育や地域の活動、災害時には避難所としても利用する体育館に、命を守る設備としてエアコン設置が必要だと思いますが、市の考えは。

**答** 近年の気候変動から、児童生徒の健康を第一に考え、災害発生時の避難所開設の際の避難者の安全面等の観点も含め、取組みが必要な課題と捉えています。他にも校舎長寿命化をはじめ課題も多く、優先順位を付けて取組みを進めたいと考えます。

**問** デジタル地域通貨は、地域内経済を活性化し、さまざまな地域活動に合わせ、ポイント付与などの仕組みもあります。導入の検討は。

**答** 導入で決済の選択肢が増え、市民が地元店舗で買い物しやすくなり、消費喚起に繋がる効果はあると考えます。しかし、現状ではキャッシュレスに対し苦手意識を持たれている事業者や市民もいるため、まずは事業者自らが利便性を実感していただくよう取り組んでもらうことが必要です。

語句の説明

\* デジタル地域通貨とは、特定の地域・コミュニティ内だけで使用できる地域通貨がデジタル化されたもののこと。



## 9月議会で決まった内容

令和6年9月議会は、9月2日から9月27日までの26日間にわたり開催されました。審議の結果、予算関係議案5件、条例関係議案6件、その他の議案4件、合計15件を可決しました。さらに意見書1件を原案の通り可決しました。

以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。) なお、決算議案10件は閉会中の継続審査としました。

### 補正予算

- ◆令和6年度中津市一般会計補正予算(第3号)  
\* 令和6年梅雨前線豪雨の災害復旧及び物価高騰対策として、市単独で学校給食提供支援の増額や漁業関係者に対する支援、また新共同調理場の土地購入費などに係る経費等
- ◆令和6年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◆令和6年度中津市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◆令和6年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ◆令和6年度中津市病院事業会計補正予算(第1号)

### 報告

- ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の報告について
- ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の報告について
- ◆専決処分報告について(和解及び損害賠償の額の決定)\*3件
  - ・ 公用車による公務中の交通事故に係る和解及び損害賠償額の決定(2件)
  - ・ 草刈作業中における自動車への破損事故に伴う和解及び損害賠償
- ◆債権放棄の報告について

### 意見書

- ◆自動車関係諸税等の抜本的見直しを求める意見書  
以上1件の意見書は原案の通り可決し、関係機関へ提出しました。

### 条例

- ◆学びの里なかつ推進宣言条例の制定について  
\* 未来に向けてひととまちが発展する「学びの里なかつ」を目指し、「学び」をキーワードとしたまちづくりを進めるための条例制定
- ◆中津市土地開発基金条例の一部改正について
- ◆中津市山国バス事業の設置等に関する条例の一部改正について  
\* 中津市山国バスをデマンド運行に変更し、利用客の拡大を図るための条例改正
- ◆中津市葬斎場及び火葬場の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
\* 施設の老朽化に伴い、現在供用を停止している常光苑を廃止するための条例改正
- ◆中津市国民健康保険条例の一部改正について
- ◆中津市立中津市民病院及び小児救急センター使用料及び手数料条例の一部改正について  
\* 児の出生前に遺伝学的検査及びカウンセリングを実施することに伴い、新たな料金を設定し、妊婦等が抱える不安の解消を図るための条例改正

### その他

- ◆市道の路線廃止について  
\* 市道山国東部15号線外1路線の路線廃止
- ◆市道の路線認定について  
\* 市道山国東部27号線の路線認定
- ◆財産の取得について  
\* 消防団消防ポンプ自動車の取得について議決を求めるもの
- ◆大分県後期高齢者医療広域連合規約の変更について  
\* 被保険者証及び資格証明書の廃止に伴い、大分県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更するもの

## 自由討議

### ◆文化財をまちづくりにもっと活かさないか

- ①文化財との関わりと変化は
- ②継承・活用の問題点はどこにあるのか
- ③解決策、将来像は描けるか



(補足説明者：本田哲也議員)

### ◆明るい希望のもてる地域活性化を探ろう

～「新地方消滅論」に抗して

- ①今ある地域活性化の可能性とその拡大のために
- ②住み続けることができない理由とその共有
- ③若者が夢と希望を抱き、高齢者が安心できる  
中津



(補足説明者：三上英範議員)

以上の2件について自由討議を行いました。

### ◆賛否の分かれた議案

【議案第73号】 令和6年度中津市一般会計補正予算（第3号）

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権－、欠席は欠で表しています。)

議案番号	議決結果	前進					清流会					市民の会		日本共産党			ほんき			公明党		豊の風		
		林秀明	角祥臣	恒賀慎太郎	古江信一	奥村一義	瀧野真己	木下素信	相良卓紀	本田哲也	三重野玉江	大内直樹	大塚正俊	木佐佳子	千木孝之	荒木ひろ子	川内八千代	三上英範	中西伸之	藤野英司	相良亜寿香	松葉民雄	小住利子	山影智一
議案第73号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○

※上記以外の議案（請願、意見書・決議等の議員提出議案を除く）については、全会一致で**原案可決**となりました。なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。

### ☆手話通訳・要約筆記による傍聴を希望される方へ

本会議を傍聴される際、手話通訳および要約筆記による傍聴もご利用いただけます。

事前に手話通訳者・要約筆記者を配置する必要がありますので、傍聴希望日の2日前（土日祝日を除く）までに、議会事務局（TEL：22-0394）へお問い合わせください。

### 虚礼廃止にご理解ご協力を

議員は、公職選挙法に基づき以下の行為は原則禁止されています。

●お中元

●初盆等の  
お供え

●暑中見舞い

●お歳暮

●年賀状

●寄附 等

また、市民の皆様が議員に寄附等を求めることも禁止されています。趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。



令和6年12月議会の開催日程(予定)

11月	25日(月)	本会議「開会・会期・議案上程」	
12月	2日(月)	本会議「一般質問」(4日間)	
	3日(火)		
	4日(水)		
	5日(木)		
	10日(火)	本会議「議案質疑」	
	11日(水)	総務企画環境委員会	
	12日(木)	常任委員会	産業建設消防委員会
13日(金)		教育厚生委員会	
18日(水)	本会議「自由討議」		
20日(金)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」		

★インターネット議会放映(録画)は、いつでも視聴できます。

本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。  
ライブ配信(生中継)と録画配信で、録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。

インターネット放映は

中津市議会HP

中津市議会中継 よりご覧ください。

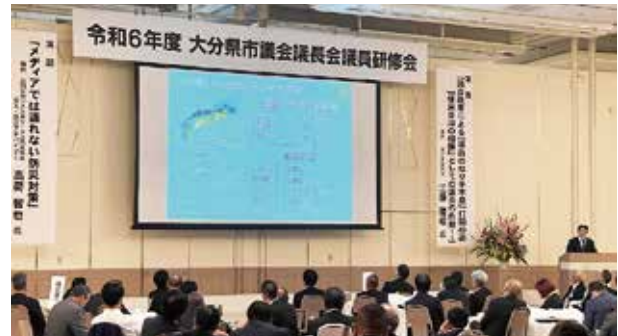


【QRコード】

生中継中は **LIVE** アイコンが点滅します

各議員の一般質問、代表質問、議案質疑の内容につきましては、市議会日程の該当日の約2日前に市議会ホームページでお知らせいたします。

大分県市議会議長会議員研修会



令和6年10月3日(木)に、大分市で開催されました。

退任役員表彰式では、前副議長の松葉民雄議員に感謝状が贈られ、その後の研修会では、「議会改革による『議員のなり手不足』 打開の道」や「メディアでは語れない防災対策」についての研修を受け、知識を深めました。

第77回大分県民スポーツ大会に参加

○議員ソフトボール 3位

令和6年8月24日(土)、25日(日)

別府市野口原軟式野球場

【準々決勝】 21対15で杵築市に勝利

【準決勝】 13対14で宇佐市に敗北



○議員・教委リレー 5位

令和6年9月8日(日) レゾナックドーム大分

[左から] 千木良孝之議員、 淵野真己議員、  
大内直樹議員、 山影智一議員、  
菊池徹教育委員、 中西伸之議員、  
大塚正俊議員



## 議員研修会を開催

令和6年9月2日(月)、会派会長会の主催により、大分県選挙管理委員会書記長補佐 後藤亮氏を講師として迎え、全議員を対象に「中津市議会議員向け公職選挙法等諸制度の解説」をテーマとして研修会を開催しました。

研修会を通じ、寄附行為の禁止(規制)や、選挙活動、政治活動における法規制等についての知識を改めて認識し、理解を深めました。



## 放課後児童クラブとの意見交換会を開催



令和6年9月11日(水)、教育厚生委員会は、市内の放課後児童クラブの皆さまと意見交換会を行いました。

意見交換会では各クラブから人材確保や運営基準のありかた、下校路の安全対策など現状の課題や行政・市議会に求めることについて、様々な意見交換がなされました。

### 【表紙について】

広報広聴委員会では、次世代を担う子どもたちに、議会や市政に興味関心を持ってもらう仕組みづくりの一環として、令和6年度から3年間をかけて、「高校生プロジェクト」として市内高等学校との意見交換会を順次開催します。

高校生と議員との交流を深め、また高等学校に学校の紹介を兼ねて議会だよりの表紙を作成していただく予定です。

なお、次回は大分県立中津東高等学校との意見交換会を予定しています。

## 決算審査を開催

令和6年9月30日(月)から10月4日(金)にかけて、総務企画環境委員会、産業建設消防委員会、教育厚生委員会を開催し、令和5年度中に執行した事業等についての審査を行いました。

